

シリーズ8

「流れ」でおさえよう！

今回「流れ」は江戸時代の2回目、主に幕末の頃がテーマになります。江戸時代の様々な問題が噴出します。外交もそうですし、国内問題もそうです。内憂外患といったところでしょうか？ 日本に接近し始めたのは、アメリカではなくロシアでしたよ。

では、チェックしていきましょう。

第9回 江戸時代 ②

<江戸時代の百姓一揆の変遷>

代表越訴型一揆 → 惣百姓一揆 → 世直し一揆
17世紀 18世紀 幕末維新时期

佐倉惣五郎らの伝承にあるように名主層が犠牲となった（1652年）、義民の直訴による一揆が代表越訴型一揆です。

全村民による一揆が惣百姓一揆で、村役人層に指導され大規模で政治的要求も含むものになりました。陸奥磐城平藩領内で起こった全藩一揆が元文一揆（1738年）は藩的規模で大規模に展開されました。

世直しの実行を求めて起きたのが世直し一揆で、天保の飢饉の中で極度に困窮した甲斐郡内地方の百姓が世直しを求めた三河加茂一揆（1836年）が有名です。

<生産形態の変遷>

農村家内工業 → 問屋制家内工業 → 工場制手工業
18世紀以前 18世紀 19世紀

農村家内工業は原料や器具とも自前で行うもので、農家の副業的要素の生産形態です。

問屋制家内工業は問屋商人が原料や器具を各農家に前貸しし、その生産物を買上げる商業資本的生産形態です。

工場制手工業（マニュファクチュア）は地主や問屋商人が奉公人を1カ所に集め、分業に基づく協業組織で手工業生産を行う生産形態です。

<ロシアの接近>

ラクスマン → レザノフ → ゴローニン事件 → プウチャーチン

1792年 使節

1804年 使節

1811年

1853年 使節

ラクスマンはエカテリーナ2世の命により通商要求を目的に、日本人漂流民を伴い根室に來航しました。通商は拒否されますが、長崎入港許可証（信牌）を受けて帰国します。

ところで、ラクスマンが連れ帰ってきた日本人漂流民は誰でしょうか？

伊勢の船頭の大黒屋光太夫でした。

彼は、アリューシャン列島に漂着し、首都ペテルブルクで当時のロシア皇帝に謁見しますが、それは誰でしょうか？

女帝のエカチェリーナ2世でしたね。

なお、大黒屋光太夫の見聞をもとに、ある人物がある本を書きました。誰の何という本ですか？

桂川甫周の『北槎聞略』でした。覚えていますか？

ついで、レザノフがアレクサンドル1世の使節として日本人漂流民を伴い、信牌を持って長崎に來航しました。通商を要求しますが、受け入れられず翌年に退去します。このレザノフの一行は、1806年樺太、1807年択捉・利尻を襲撃する事件を引き起こします。

ゴローニン艦長は国後に上陸したとして逮捕、函館や松前に監禁されます。ロシアは翌年、報復に淡路の商人高田屋嘉兵衛を逮捕します。1813年、高田屋嘉兵衛の尽力によりゴローニンは釈放され、事態は収拾されました。

幕末に登場するのが、ロシア極東艦隊司令長官プウチャーチンです。彼は信牌を持って1853年に長崎に來航し、1854年下田で日露和親条約を締結します。

この条約で日露の国境が画定しました。樺太は雑居としましたが、千島列島のある島とある島の間に国境を設けました。それは、何という島でしたか？

千島列島の得撫島以北がロシア領、択捉島以南が日本領になりましたね。

ところで、プウチャーチンが日本に来ていたとき、安政の大地震が起き、津波によってディアナ号が大破します。日本で帆船ヘダ号をつくって帰国するのですが、彼は1858年に再来日し、日露修好通商条約を締結します。

<日本人の北方探検>

最上徳内

1785 年

→

近藤重蔵

1798 年

→

間宮林蔵

1809 年

出羽出身の最上徳内は幕府の千島列島探査に参加したのを皮切りに、蝦夷地・千島を調査します。蝦夷地の開発やロシア人との交易の可能性を調査させるためでした。

ところで、田沼意次が蝦夷地の調査をさせたのにはきっかけがありました。仙台藩の医師が建議してきたのです。その人物並びに著書は何でしたか？

そう。工藤平助の『赤蝦夷風説考』でしたね。

幕臣の近藤重蔵は東蝦夷地を調査し、択捉に「大日本恵登呂府」の標柱を建てました。この外側にロシアとの境界線を引いたのでした。1800 年には八王子千人同心 100 人を蝦夷地に入植させたうえ、1802 年には東蝦夷地を直轄地とし、居住していたアイヌを和人とし、同化政策を進めます。また、上記のレザノフの一行による襲撃があったので、1807 年には松前藩と蝦夷地すべてを直轄にして松前奉行の支配下に置き、東北諸藩をその警備に当たらせました。（ゴローウニン事件でロシアとの関係は改善されたので、1821 年に蝦夷地は松前藩に戻されます）

間宮林蔵は幕命により 1808 年に樺太を探検し、樺太が島であることを初めて確認しました。これが、いわゆる間宮海峡の発見ですね。

では、質問です。この 1808 年に長崎で衝撃的な事件が起きています。ある国の軍艦が長崎に入港し、オランダ商館員を人質にして、薪水や食料を強要して退去した事件でした。この事件は何ですか？

フェートン号事件でした。イギリスの軍艦フェートン号が長崎に侵入してきた事件でした。

<幕府の洋学機関の変遷>

蛮書和解御用

1811 年

→

洋学所

1855 年

→

蕃書調所

1856 年

→

洋書調所

1862 年

蛮書和解御用は天文方の高橋景保の建議により、幕府天文方に設置された蘭書翻訳局です。1855 年に洋学所となりますが、翌年に蕃書調所と改称します。当初は軍事科学の導入に重点を置きました。旗本の子弟・藩士が入学し、英学・蘭学・科学技術などを教授しました。1862 年に洋書調所と改称し、63 年には開成所と改め、のちに大学南校となりました。

ところで、高橋景保の父親は誰ですか？

高橋至時でしたね。

また、高橋景保はある事件により投獄され牢死しました。その事件とは何ですか？

シーボルト事件でしたね。

< 戊辰戦争 >

鳥羽・伏見の戦い → 江戸無血開城 → 会津戦争 → 箱館戦争（五稜郭の戦い）

1868 年 1 月

3 月

5 月

1869 年 5 月

徳川慶喜が**辞官納地**を拒み大坂城に退くと、薩摩藩が挑発し、京都郊外で旧幕府軍と激突。勝利し勢いに乗る東征軍の**西郷隆盛**と幕臣**勝海舟**が会談し、江戸城開城と総攻撃中止を決定しました。しかし、旧幕臣による**彰義隊**と政府軍が上野寛永寺で衝突します。戦場は北上し、東北・北越諸藩が**奥羽越列藩同盟**を結び抵抗しましたが悉く鎮圧され、徹底抗戦を続けた会津藩を東征軍が総攻撃。**白虎隊**の悲劇も生まれましたね。最後は北海道に舞台を移し、旧幕府軍や元新撰組**土方歳三**らが五稜郭に籠城するも敗北し、戊辰戦争は終結しました。

五稜郭の戦いで、**旧幕府の軍艦を率いて戦った幕臣は誰でしたか？**

榎本武揚でしたね。